

## 平成 18 年度 第 1 回 公民館運営審議会 会議要旨

日時	平成 18 年 8 月 24 日 (木) 15:00~16:30
場所	市民センター 204 室
出席者	委員長 樋口 茂 委員 岩井 晃治郎・河村 照子・阪口 雅三・藤田 まさ子 事務局 白川公民館長・中西館長補佐・永吉指導主事
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開  <非公開・部分公開とした場合の理由>
傍聴者数	0 人

### 1 議題

#### 報告事項

- (1) 平成 18 年度公民館事業計画等について
- (2) 平成 18 年度公民館講座等の事業報告について
- (3) 阪公審等の事業予定について

#### 協議事項

- (1) 秋の公民館講座等の実施について
- (2) その他 (今後の日程等)

### 2 懇話内容

報告事項については、事務局作成の資料をもとに報告を行い、各委員の意見交換を行った。協議事項については、事務局作成の資料をもとに説明を行い、各委員に協議を頂き、意見を受けた。

#### [主な内容等]

##### 報告事項について

議題 (1) は、平成 18 年度の公民館事業計画について各委員に報告を行った。

議題 (2) は、4 月から 8 月までの実施済みの講座等の事業報告を行った。その後、意見交換を行い、各委員から次のような意見が出た。

- ① 夏休み子ども教室は、「公民館」が主催という安心感があつて好評である。公民館の参加者はほん一部であり、浜の子どもが市民センターに来るよりも、自治会、コミスクなどと連携して地域でも出来るシステム作りも大切ではないか。中学校や高校生への取り組みもなかなか難しい面があるとは思いますが検討を加えては。

- ② 交通手段等の発達などにより、人々の活動範囲がとても広がっている。芦屋市内だけではなく、市外も視野に入れた講座運営を考える必要がある。
- ③ 従来の講座運営の方法に加え、民間企業などのさまざまな外部の力を活用していくことも、有効な選択肢の一つとなってくるのではないだろうか。
- ④ 新しい企画を一から作り出すのはさまざまな困難を伴う。すでに成功している事例をベースにして、新しい企画等を作り上げることは出来ないだろうか。
- ⑤ 社会参加の面から、指導力のある人材と、高齢者の学習グループのパワーをどう活用していくか…も今後の課題。
- ⑥ 公民館音楽会もニーズがあれば、回数を増やしては。

#### 協議事項について

議題（１）は、秋の公民館講座等の案を各委員に報告し、協議をいただき意見を受けた。パソコン講座の今後のあり方については、ワードなどのパソコンの操作技術講習も市民のニーズはあるが、便利な IT を使いこなす活用技術、IT 社会の問題点と注意すべき内容、ホームページを活用するためのリンクなど変動の激しい社会に対応した講習会・講座が必要だという意見をいただいた。

議題（２）については、次回の第２回公民館運営審議会の開催日時を確認した。

平成１９年２月２２日（木）市民センターで開催予定。

#### 〔結論〕

予定した議題をすべて報告し、委員の意見をいただいた。

以上